

小児科 特別集談会

7月8日（水）

『看護師の目から見たアメリカの医療と、
CDC研究者への道のり（仮題）』



アメリカ疾病予防管理センター

研究員 神谷 英美子

★ 18:00～

★ 第4講堂

(医学部臨床講義棟)

- I. はじめに
- II. CDC研究者への道のり
- III. CDCでの役割
- IV. 最新のHIVの知見
- V. 最後に



看護師・看護学生の聴講歓迎！

興味のある方はどなたでもお気軽にご参加下さい

神谷英美子（かみにえみこ）さん

1999年渡米。2003年ブラジルのスラム街で感染症やエイズケアに携わる。2006年カリフォルニア州看護師免許を取得後、University of California, Los Angeles総合医療センター肝臓・腎臓移植科に勤務。2009年University of California, San Francisco (UCSF)高度実践地域医療・国際看護専攻、及びHIV副専攻修士課程終了。地域専門看護師(CNS)資格を取得後、サンフランシスコのスラム街にて、医療弱者をターゲットにした無料診療所の立ち上げに加わる。開院後は看護部長として、主に薬物依存者、ホームレス、性的少数者のための医療に携わりながら、様々な医療格差やスティグマ問題を取り上げたプロジェクトを率いる。特に、米国で初めて試みられた性転換者のための無料ホルモン療法は、高度なケアとアウトカムの向上で注目される。2013年UCSF看護博士課程終了。2014年からCDC (Centers for Disease Control and Prevention; アメリカ疾病予防管理センター)にて、研究員として主にHIV予防研究に従事。カリフォルニア州看護師、保健師とCNS免許保持。

連絡先： 内5954 小児科医局

日本から米国に移り、米国で看護師として臨床の第一線で経験を積んだ国際的な感覚を有する稀有な看護師であり世界中の疾病管理の指針を牽引する中枢機関で活躍される神谷さんの貴重なご経験を、ぜひ聴きにきてください。